

佐倉市印南小学校

GIGAスクール構想に向けて

令和6年度佐倉市教育委員会から出された
各校が目指す取り組みについて

印南小学校でもステップ2・3を
目指します。

令和6年度の目標

児童生徒の目標

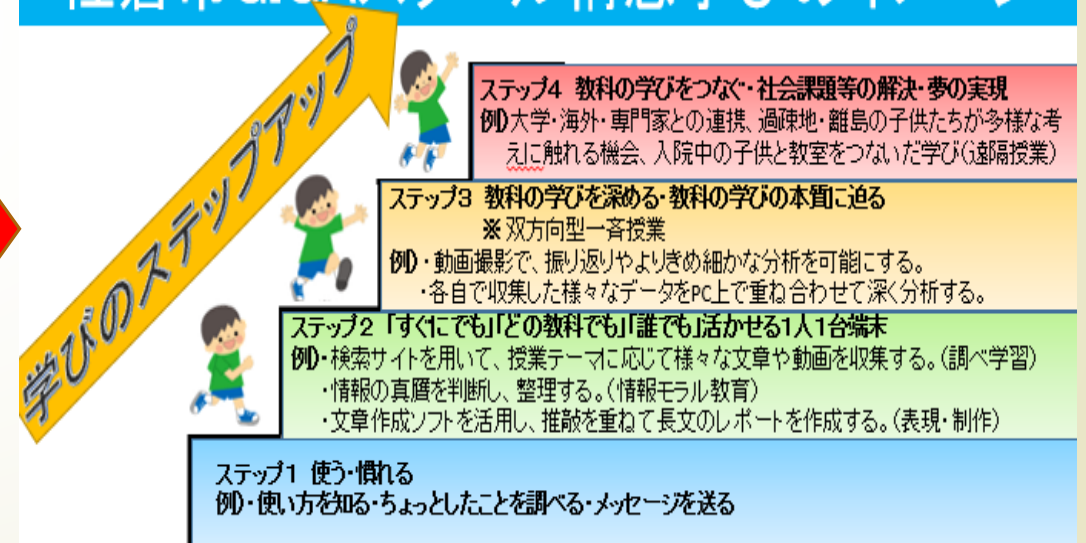
①学習支援ソフトの有効活用

○アップデートされた学習支援ソフトを各学習で有効活用できる。

②学びのステップアップ

○児童生徒が個々の学習状況・内容に応じて、ステップ2、ステップ3、ステップ4を選択し、活用できる。

佐倉市GIGAスクール構想学びのイメージ



印南小学校では、このような場面での活用を想定して指導しています。

学びへの活用

ICTの「学び」への活用

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- ・一人一人が情報を検索し、収集・整理
- ・子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



🌱 一斉学習の場面での活用

- ・誰もがイメージしやすい教材提示
- ・一人一人の反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- ・子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- ・共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- ・デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- ・様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より

活用場面

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習進捗を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを整理して整理

B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

C3 協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

児童のタブレット活用場面①

- ノートを撮影してクラス全体への共有しています。

自分の考えが書
けたよ。

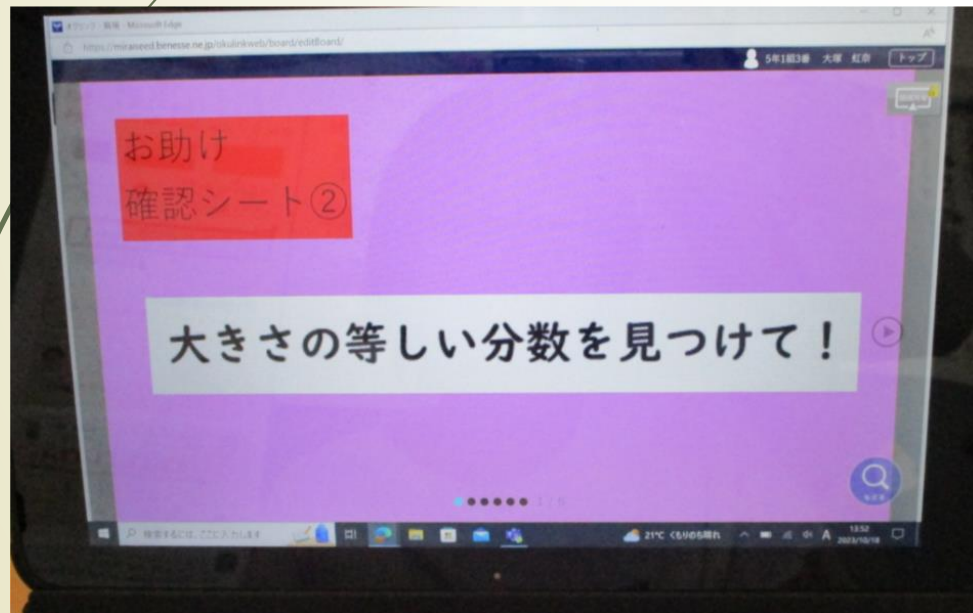


どんな考えがあ
るかな。



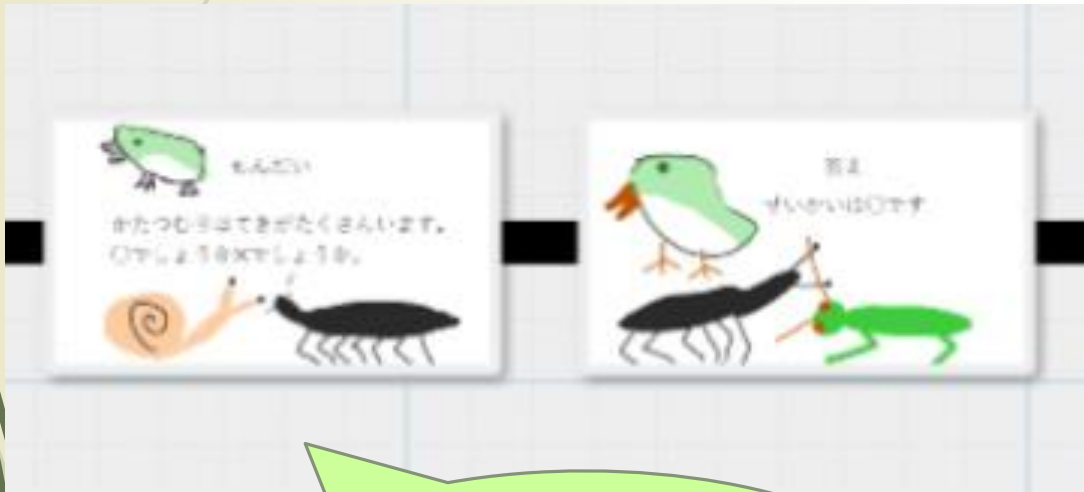
児童のタブレット活用場面②

- ▶ ヒントカードを見ながら自分で問題の解き方を考えます。

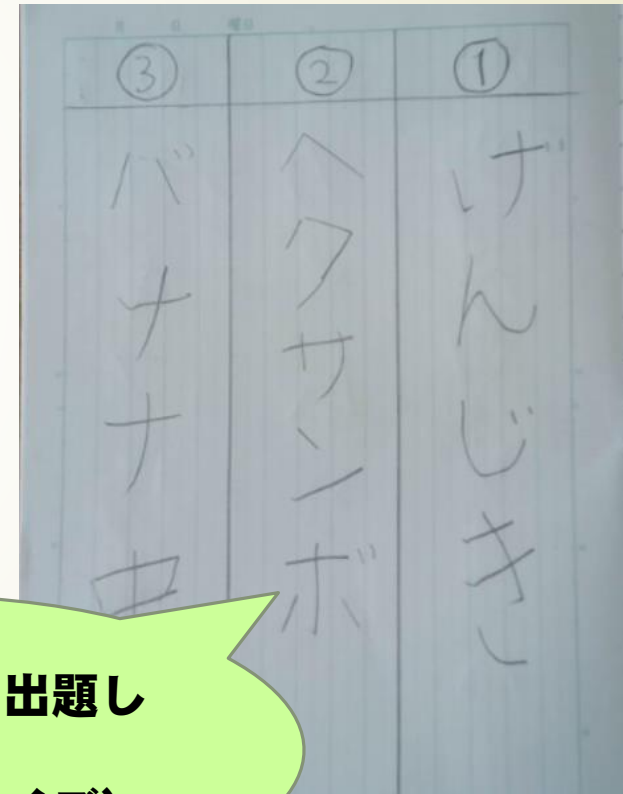


児童のタブレット活用場面③

- クイズをつかって出題することができます。



タブレットでつくり
ました。
(生きものクイズ)



ノートに考えて出題し
ました。
(地方の言葉クイズ)

児童のタブレット活用場面④

- ▶ 育てている植物の成長を記録しています。



どのように成長したか振り返ることができます。



児童のタブレット活用場面⑤

- 自分のつくった作品を写真で撮影したり記録したり友達と共有しています。



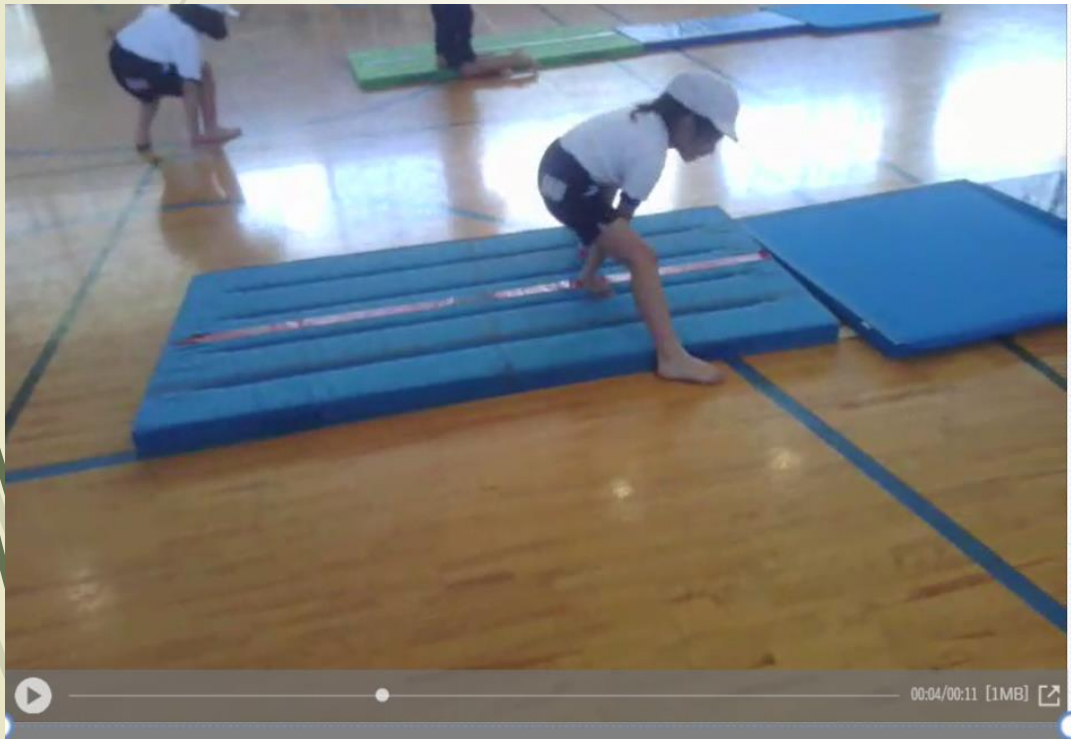
自分の作品や友達
の作品を見ることが
できます。



児童のタブレット活用場面⑥

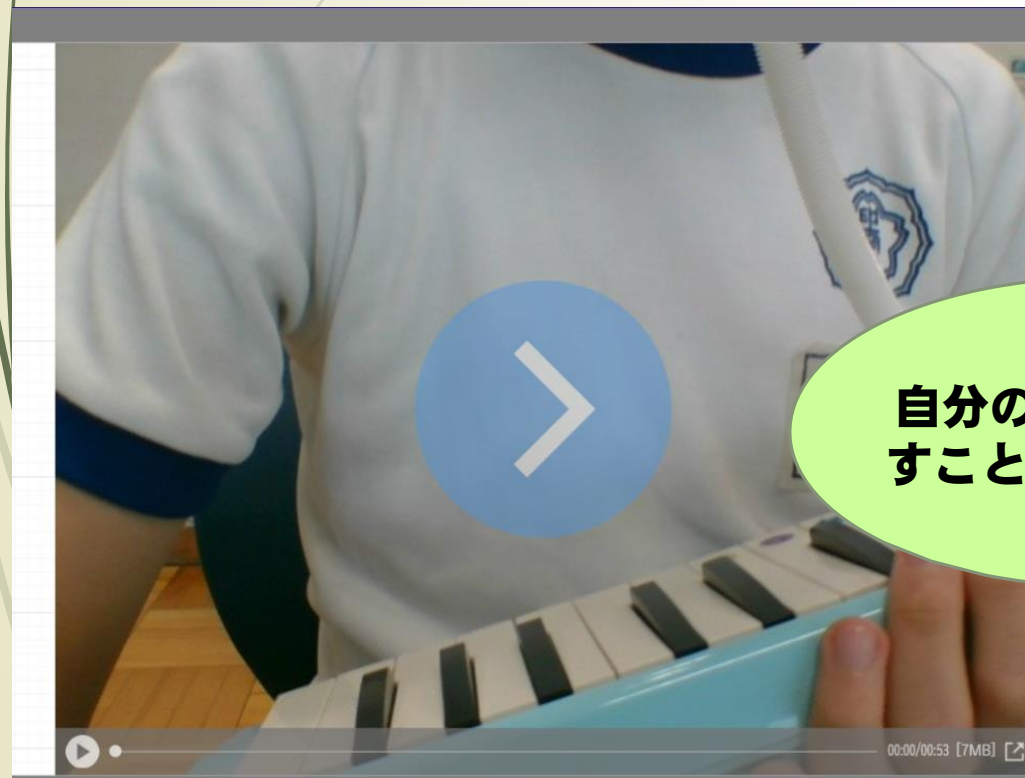
- ▶ 体育の活動の様子を動画で撮影しています。

自分の動きを見返すことができます。



児童のタブレット活用場面⑦

- ➡ 音楽の練習の様子を動画で撮影してます

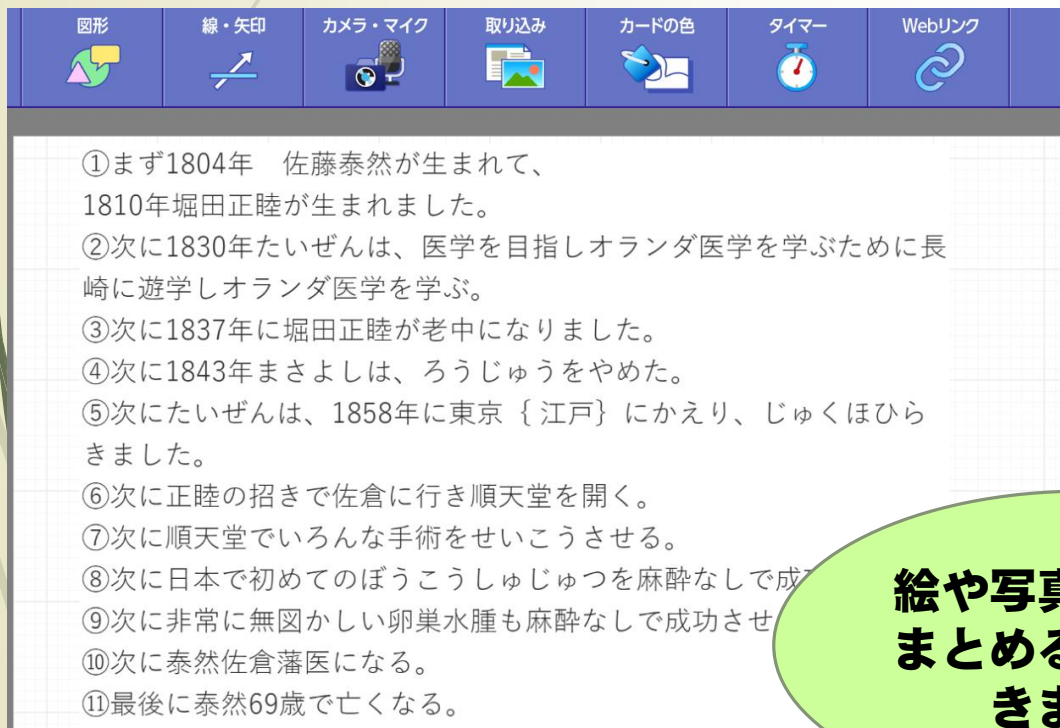


**自分の演奏を見直す
ことができます。**



児童のタブレット活用場面⑧

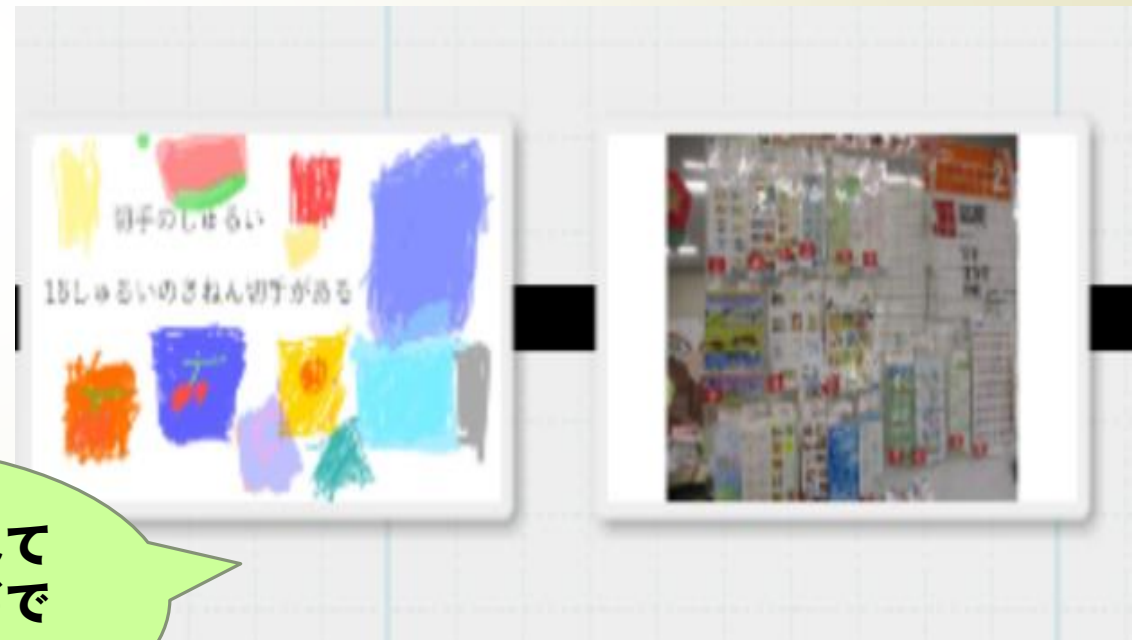
- ▶ オクリンクを活用して調べたことや見学したことをまとめています。



図形 線・矢印 カメラ・マイク 取り込み カードの色 タイマー Webリンク

- ①まず1804年 佐藤泰然が生まれて、1810年堀田正睦が生まれました。
- ②次に1830年たいぜんは、医学を目指しオランダ医学を学ぶために長崎に遊学しオランダ医学を学ぶ。
- ③次に1837年に堀田正睦が老中になりました。
- ④次に1843年まさよしは、ろうじゅうをやめた。
- ⑤次にたいぜんは、1858年に東京 {江戸} にかえり、じゅくほひらきました。
- ⑥次に正睦の招きで佐倉に行き順天堂を開く。
- ⑦次に順天堂でいろんな手術をせいこうさせる。
- ⑧次に日本で初めてののぼうこうしゅじゅつを麻酔なしで成功させる。
- ⑨次に非常に無図かしい卵巣水腫も麻酔なしで成功させる。
- ⑩次に泰然佐倉藩医になる。
- ⑪最後に泰然69歳で亡くなる。

絵や写真を入れて
まとめることが
できます。



児童のタブレット活用場面⑨

- ▶ PowerPointを活用して調べたことをまとめています。



延覚寺

最初は、延覚寺！

僕たち1班は延覚寺の中へ入らせてもらい、様々な物を見せてもらい、延覚寺について教えてもらいました。

写真も撮らせていただいて皆、嬉しそうでした。

次は人口です。

2000年鳥取県の人口構成

男性計：293,403人 女性計：319,886人

年齢	男性	女性
0-4	14,201	13,485
5-9	14,599	15,098
10-14	14,947	15,317
15-19	15,304	15,317
20-24	15,619	15,975
25-29	15,919	16,790
30-34	16,119	17,023
35-39	16,318	17,224
40-44	16,518	17,424
45-49	16,718	17,624
50-54	16,918	17,824
55-59	17,118	18,024
60-64	17,318	18,224
65-69	17,518	18,424
70-74	17,718	18,624
75-79	17,918	18,824
80-84	18,118	19,024
85-89	18,318	19,224
90-94	18,518	19,424
95-99	18,718	19,624
100+	18,918	19,824

単位：人
© jp.gofreak.com

自分で撮影した写真
をつかってまとめる
ことができます。

調べた資料を使っ
てまとめています。